

# 留学報告書

記入日:2014年5月20日



所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: テンプル大学 現地言語: Temple University
留学期間	2013年8月～2014年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Media and Communication
帰国年月日	2014年5月16日
明治大学卒業予定年	2016年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月上旬 2学期:1月下旬～5月中旬
学生数	35,000人
創立年	1884年

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	9,000	90万円	
食費	5,000	50万円	
図書費	600	6万円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	150	1万5千円	
被服費	700	7万円	
医療費	0	0円	
保険費	2,000	20万円	形態:日本の保険会社での加入
渡航旅費	4,500	45万円	
雑費	2,000	20万円	
<b>合計</b>	<b>23,000</b>	<b>230万円</b>	

## 渡航関連

**渡航経路:** 成田—NY、JFK空港—フィラデルフィア国際空港

渡航費用

チケットの種類	格安
往路	20 万円
復路	13 万円
合計	33 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

エクスペディアでデルタ航空チケットを購入しました。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

アパート形式の寮(キャンパス内)

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 2 人。三部屋でひとつのリビング共用なので 6 人)

3)住居を探した方法:

留学先大学が手配

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

6 人も一緒に暮らすので大変ですが、常に話し相手がいるので英語の練習にはとても良いと思います。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: 大学内の学生用ヘルスケアサービスにて無料で診療してもらいました。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友達、ルームメイトたち、RA、国際担当の事務の方

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の学生や大学からの連絡

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内の建物内ではどこでもWi-Fiが使えます。寮内でもケーブルなどは必要ありません。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に口座を開設する学生がほとんどでしたが(オリエンテーション中に現地生に案内してもらえます)、私はアメリカのシティバンクの口座をもともと持っていたのでATMから現金を入手していました。またクレジットカードも数枚持っていて、支払いはいほぼクレジットで済ませていました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

薬は日本のものを持っていくことをおすすめします。

## 進路について

1) 進路

就職     進学     未定     その他: 進級

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。 二年生の後期から留学を始めることができれば、就職活動にも十分に合いますし、自分のこれからの道を考える時間も十分に確保できると思います。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 19 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Media and Society	社会とメディアとの関わり・イントロ
科目設置学部・研究科	Media and Communication/ Advertising
履修期間	2013/8~12
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Mary Beth Ray
授業内容	様々な形態のマスメディアについて。メディアの影響と役割・歴史について。
試験・課題など	小レポートやプロジェクトが数回、中間と期末試験、毎回のリーディング
感想を自由記入	クラスはあまり大きくなく、ディスカッションの多い授業です。クラス内グループワークも多々あり、生徒の意見を聞くことが多いです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Into to Advertising	広告・イントロ
科目設置学部・研究科	Media and Communication/ Advertising
履修期間	2014/1~5
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Steve McLean
授業内容	様々な広告の形態、実状、影響、社会との関わりなどについて。
試験・課題など	数チャプター終わるごとにクイズ、個人プレゼンテーション
感想を自由記入	小さめの教室なので先生との交流が多くなります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Media and Society	メディアと社会
科目設置学部・研究科	Media and COmmunication/ Media and Production
履修期間	2013/8~12
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Barry Vacker
授業内容	メディアの持つ影響力と私たちの生活について。
試験・課題など	グループでの共同レポートと共同制作、中間期末試験、毎回のリーディング
感想を自由記入	大きなクラスですが生徒の発言が多いです。非常にやる気のある生徒が多いです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
World Society in Literature and Film: Japan Focus	文学と映画に見る社会・日本
科目設置学部・研究科	Asian Studies
履修期間	2013/8~12
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	P.B.Reagan
授業内容	毎時間映画を見て、そこから文化や時代背景、当時の社会問題などを見出す
試験・課題など	セメスターを通して大きめのレポートを 4 つ提出
感想を自由記入	日本を外側からみるいい機会でも濃かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Hatha Yoga	ハサヨガ
科目設置学部・研究科	Music and Dance/ Dance
履修期間	2014/1~5
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実技
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Melisa Clark
授業内容	ヨガ
試験・課題など	セメスターを通して三回レポートを提出
感想を自由記入	普段聞くことのない単語を学べるので楽しいです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Marketing	マーケティング・イントロ
科目設置学部・研究科	Media and Communication/ Advertising
履修期間	2014/1~5
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Jan Gera
授業内容	主に広告業界におけるマーケティングについて。
試験・課題など	小プロジェクト・小レポートが数多くあります。中間期末を含む試験も 4 回あり、グループプレゼンテーション、個人リサーチペーパーもあります。
感想を自由記入	ゲストスピーカーやディスカッション、クラス内グループワークも多く非常に活発なクラスです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Global Citizenship	グローバル人材になるには
科目設置学部・研究科	Univ Seminar/Global LLC
履修期間	2013/8~12
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー
授業時間数	1週間に 80 分が 1 回
担当教授	Martyn J. Miller
授業内容	授業はディスカッションで成り立っています。クラスは非常に小規模です。
試験・課題など	小レポートが数回
感想を自由記入	Global LLC というコミュニティに所属する人は取らなければいけない授業でした。毎授業かならず一人一回は発言し、生徒が意見交換をしながら進むような活発な授業です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Spanish Basic1	スペイン語基礎
科目設置学部・研究科	Spanish and Portuguese/Spanish
履修期間	2014/1~5
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・ラボ
授業時間数	1週間に 50 分が 4 回
担当教授	Paul D. Toth, Madelain Romero-Fresneda
授業内容	スペイン語基礎
試験・課題など	毎回のオンライン課題、リーディング、教科書の課題、口答試験、筆記試験
感想を自由記入	文法よりもスピーキングに重点がおかれています。

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	
4月～7月	明治大学入学 協定校留学にむけて TOEFL 勉強
8月～9月	Oxford へ国際日本学部の短期語学留学 留学先について調査
10月～12月	TOEFL、勉強 出願、面接
2013年 1月～3月	TOEFL 留学先大学への書類提出
4月～7月	留学先での授業をアドバイザーと相談 寮の決定、ビザ申請、予防接種 保険会社加入、航空チケット手配
8月～9月	渡航、オリエンテーション 現地での保険や授業登録 授業開始
10月～12月	中間試験 Thanksgiving 休暇 期末試験、冬休み
2014年 1月～3月	冬休み 後期履修登録、授業開始 中間試験、春休み
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	一年間の留学という大きなイベントは、学校のサポートの下、大学生である今しかできないと思ったことがきっかけです。もともと幼いころからいつかは留学したいと考えていましたが、現実的なものとして目の前に機会があったので、臆さずチャレンジしてみよう、逃したくない、と思いました。まずは英語を身につけるため、次に海外で学びたいものがあったため、そして色々な人やものに出会い、自分を豊かにするために留学に挑戦することにしました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	まずは語学力を向上させることです。行く前から自分の語学力を上げておくに越したことはありません。身につけているものが多ければ多いほどストレスは減りますし、吸収できるものも多くなります。特にライティングやリーディングは自分次第でいくらでも練習することができるので、現地に着いてからも確実に役に立ちます。また、自国の習慣や文化、政治体系や経済状況など、幅広い分野に渡ってある程度の知識を持っていた方がいいです。
この留学先を選んだ理由	第一に学びたい科目が充実しているということです。私が専攻しようと考えていた学部はどの大学にもあるわけではなく、選択できるクラスの豊富さが重要でした。次に、交換留学生はどの学部からも授業を履修できるという点です。できるだけ興味を持ったことには挑戦したいと思っていたので、選択の幅が利くことは魅力的でした。そして日本人が少ないということです。せっかくの留学なのだから、できるだけ日本人・日本語から離れてみたいと考えていました。
大学・学生の雰囲気	大学は大きく学生数が多いので、キャンパス内は人であふれています。フードトラックも数多くあり、外で食事を楽しむ学生が非常に多いです。学校の近くは危険な場所もありますが、キャンパス内は安全ですし、地下鉄もあるので、少し足をのばせばすぐ近くに都市があります。様々な背景を持つ生徒がいるので、国際色豊かなキャンパスです。田舎ではないのでビルが多いですが、キャンパス内には緑もあり、リスもたくさんいます。学生はみな勉強熱心で、学内活動に積極的です。
寮の雰囲気	私の所属するコミュニティのメンバーはみんな同じ寮の同じフロアに住んでいたため、学生同士の交流が活発でした。お互いの部屋を行き来し、同じ階に住む人とはほぼ全員知り合いとなっていました。そのコミュニティ内での活動も数多くありました。季節ごとのイベントやパーティ、アクティビティも頻繁に行われ、現地の学生やインターナショナルの学生と毎日のように顔を合わせていました。現地の学生は留学生の生活をサポートしてくれることも多いので、非常に住みやすい寮でした。
交友関係	現地に着いてからすぐに一週間近くオリエンテーションがあったおかげで、積極的に自分から行動し、たくさんの留学生の友達ができました。オリエンテーション終了後、寮に移った後は、まず同じ部屋のルームメイトたちに積極的に話しかけるようし、徐々に仲良くなっていきました。また、同じフロアには同じコミュニティに属する仲間が住んでいたため、そこでアクティビティなどを通して、同じ階に住む仲間たちとも仲良くなっていきました。一度友達ができると、その友達に別の友達を紹介してもらうなどして、どんどん交友関係が広がっていきました。
困ったこと、大変だったこと	大変だったことは、日本人の友達が全然いなかったことです。もちろんそれにより自分が積極的になり、結果としては良かったのですが、一度軽めの病気になった時に同じ言語を話す友人がいないというのは大変でした。次に共同生活です。6人での共同生活なので、生活習慣が違うととてもストレスが溜まります。それを乗り越えてこそその異文化交流なのは確かですが、やはり実際体験してみると非常にストレスが溜まり、心身ともに疲れることもしばしばありました。最後に授業です。ある程度慣れるまでは授業に参加するだけで体力を消耗しますし、語学力の乏しさにより授業を理解するのも非常に困難でした。
学習内容・勉強について	私はジャーナリズムの専攻でしたが、それだけではなく色々な科目を履修しました。授業は基本的に先生とのディスカッションや意見交換が活発に行われ、どのクラスでも生徒が積極的に発言をします。授業のスピードや教科書の難しさについていくことができず苦しい思いをしました。自分のできるだけの努力をし、教授の元へ積極的に訪れて質問をすれば、優しく手をさしのべてくれます。学生にしろ先生にしろ、自分が何もしなければ誰も助けてはくれませんが、一生懸命取り組み、助けを求めれば、誰でも快く助けてくれます。私は基本的に毎授業後は質問に訪れ、わからないところはすぐに解決し、教科書でわからないところは何度も読み返しました。ルームメイトや友人に質問をすることも多々ありました。

課題・試験について	課題はとにかく多くて、慣れるまで(特に前期は)は毎日必死で教科書を読み込み、休日も課題に追われていたりと常に忙しく、部屋から出られない日も多くありました。寮には勉強ルームがあったので、同じ階に住む留学生の友人たちと夜遅くまで一緒に勉強することも多々ありました。試験も課題も現地生よりも時間がかかるので大変ですし、もう嫌だとも思いましたが、やり遂げた時の達成感は素晴らしいものでした。わからないところがある時は、いつでも教授やTAが力になってくれます。
大学外の活動について	友人を通してよその大学の学生と仲良くなったり、大学主催の委員会のようなものに登録し、知り合った一般家庭の方々の家に招いていただいて夕食を共にしたり、スポーツを観戦したりしましたが、大学外の活動はあまりありませんでした。しかし、授業や勉強の他にも、所属するコミュニティ主催のアクティビティに積極的に参加して交友関係を広げたり、毎日のように友人とジムに通いダンスを習ったりしました。後期からは直接教授に頼み込み、日本語クラスのチューターボランティアとして活動させていただきました。
留学を志す人へ	留学は、それを目指して頑張るところから始まると思います。どうしても留学したいという強い意志と理由を持って、勉強を頑張ってください。また、留学が自分にとってどんなものになるかは自分次第だと思います。私にとって留学は、楽しかったの一言で終わらせられるものではありません。自分が留学前に思っていたよりもはるかに大きな困難が待ち受けていました。しかし、楽をするのは簡単ですが、苦しめないと成長はありません。楽しかっただけではありませんが、だからこそ自分にとって非常に価値のあるとても良い経験ができました。留学前も留学中も自分に妥協することなく、そして失敗することに臆することなく、頑張ってください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業		授業			課題	洗濯
	授業	授業	授業	授業	授業	課題	課題
午後		オフィス アワー	オフィス アワー	オフィス アワー	復習	友人と外出	コミュニティ のイベント
	課題	授業		授業	ジム	友人と外出	
夕刻	ジム	授業	ジム	授業	友人と夕食	課題	大掃除
夜	ルームメイト との交流	授業	ルームメイト との交流		友人と 映画会	友人と夕食	課題